

必修修科目	2単位	前期	全学科、全年次対象	教科書等…新編現代の国語、新編現代の国語学習課題ノート（東京書籍）
面接指導…前期5時間（日曜4回、水曜1回）実施、うち2時間以上出席			試験…前期1回	レポート提出…前期6回

○「現代の国語」の学習目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせる言語活動をとおして、国語で理解し表現する資質や力を育成する。その資質や力とは、「実社会で必要な知識や技能」「論理的に考える力や共感・想像する力」「伝え合う力」「思いや考えを深める力」「言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度」などである。

○学習内容の概要

〈知識及び技能〉 「言葉の使い方と特徴」や「話や文章に含まれている情報の扱い方」について学び、「実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用」について理解を深める。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- A 話すこと聞くこと…「伝え合う内容」「話の構成や展開」「表現」「情報の整理」「結論の出し方」について学ぶ。
- B 書くこと…「伝えたいこと」「構成や展開」「表現の仕方」「自分の文章の特徴や課題」について学ぶ。
- C 読むこと…「要旨要点の把握」「文章等に含まれる情報の関連付けと意図の解釈」「文の構成や論理の展開の評価」について学ぶ。

○国語科からのメッセージ（これらの学習の態度・心構えについては、「主体的に取り組む態度」として評価します）

- ・国語の学習はまず読むことが基本です。教科書の本文や注を何回も読み、疑問点をノートに書き出しましょう。
- ・学習課題ノートは内容を理解するための問題集です。上手に活用して学習を深めてください。
- ・スクーリングでは、疑問点を積極的に解決してください。レポートの質問欄も大いに利用しましょう。

○スクーリング（面接指導）計画 ※学習内容は予定であり、変更することがあります。

日曜・水曜スクーリング（2回以上出席が必須、日曜は複数教室に分かれて実施、水曜（5／13）は2階の階段教室で行う。）	回	月／日	曜	時限	学習項目	学習の内容	対応レポート
テスト 前期試験は7月～9月初め。第6回合格後に用紙で各自申し込む。前期卒業予定者は、第6回を〆切前に提出しないと受けられない場合がある。試験にはレポートの内容が多く出題される。合格は30点以上、満たない場合は、追試を2回まで受験可能。	1	4／26	（日）	③	ガイダンス、1自己を見つめる、2他者に出会う	全体ガイダンス、「こそめスープ」「ルリボシカミキリの青」	レポート1
	2	5／13	（水）	①	水曜スクーリング（2他者に出会う）	「未来をつくる想像力」「水の東西」	レポート2・3
	3	6／21	（日）	③	4視野を広げる3言葉と生活1・5社会に関わる	「ハサミ」「わかりやすい説明をしよう」「鍋洗いの日々」	レポート3・4
	4	7／5	（日）	④	6言葉と生活2、7世界とつながる	「発想を広げる方法を使って話し合う」「りんごのほっぺ」 「人生という旅の豊かな人間関係」	レポート4・5
	5	7／19	（日）	①	8未来に目を向ける	「天動説はなぜ「正しかった」か？」「真の自立とは」	レポート6

○レポートについて（これらについては、主に「主体的に取り組む態度」として評価します）

レポート合格の期限
（太字の計4回、他は目安）
レポート1〔5月20日〕
レポート2〔6月初旬〕
レポート3〔6月17日〕
レポート4〔7月初旬〕
レポート5〔7月15日〕
レポート6〔8月26日〕

- ・第1回から順に、教科書や学習課題集、プリントをよく読んで仕上げましょう。解答欄は必ず全て埋めて提出しましょう。空欄があるもの、70点に満たないレポートは不合格です。その際は指示された所をすべてやり直して再提出し、合格を確認後、次のレポートに進めます。
- ・同時に複数回のレポート提出は禁止。レポートの合格を確認せず、次回を提出することも禁止。
- ・レポートの第1、3、5、6回は合格締切日があり、これを過ぎると単位不認定となります。
- ・他人のレポートを写す（写させる）、他人にやらせる（やってやる）ことは重大な不正行為となります。絶対にやめてください。
- ・各レポートの「今回の作品・題材について考えたこと、疑問点とそれを自分で調べてみたこと」への応答（コメント）欄も評価の対象となります。

○評価について

(1) 評価の観点及び内容（評価規準）

評価の観点及び内容（評価規準）	
知識・技能	「言葉の使い方と特徴」や「話や文章に含まれている情報の扱い方」について理解している。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」や「読むこと」を通じ、的確に物事を捉え、思考し判断することができる。「書くこと」で的確に、他者に自分の思いや考えを伝えられる。
主体的に学習に取り組む態度	自分できちんと計画を立て、積極的に学習に取り組んでいる。レポートに真摯に取り組む、言語感覚を磨き、言葉の持つ価値に幅広い興味関心を持っている。

(2) 評価方法と評定

(a) 評価方法（観点ごとにA～Cの3段階で評価）				
評価方法・観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度	具体的な評価のポイント
スクーリング		○	○	準備・取組の様子
レポート	○	◎	◎	記述内容、応答欄の内容
テスト	◎	◎	○	観点ごとの点数
(b) 評定				
6回のレポートを合格し試験を受け、スクーリングに2回以上出席した場合、テストとレポートの結果等を基に5段階で評価します。評定「5」～「2」が単位修得です。				

(a) 評価方法		(b) 評定	
評価方法・観点	知識・技能	◎	テスト
	思考・判断・表現	◎	レポート
	主体的な態度	○	
	具体的な評価のポイント	◎	準備・取組の様子 記述内容、感想欄 解答内容、点数

選択科目	2単位	前期	全学科、全年次対象	教科書等…新編論理国語、新編論理国語学習課題ノート(東京書籍)
面接指導…前期5時間(日曜4回、水曜1回)実施、うち2時間以上出席				
			試験…前期1回	レポート提出…前期6回

○「論理国語」の学習目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 - (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○学習内容の概要

「知識及び技能」言葉の働きを理解し、論証のために必要な語句を増やし、実際に使うことで語感を磨き語彙を豊かにする。また、効果的な文章にするために接続表現や論の構成などについて理解を深める。文章に含まれている情報の関係性やそれらを整理する方法、推論の仕方を理解し使う。読書を通して新しい知識や考えに触れ、自分の考えを深めていく。

「読者の読みきき」必要な情報を収集、整理し自分の立場や論点を明確にして適切な根拠をそろえ、効果的な構成を考えて明晰で自分の主張が的確に伝わる文章を書く。文章の種類を踏まえて、内容や構成、資料との関係を把握し、論点を明確にしながら、多面的・多角的な視点で評価をし、新たな観点から自分の考えを深める。

○国語科からのメッセージ(これらの学習の態度・心構えについては、「主体的に取り組む態度」として評価します)

- ・国語は考える科目ですが、考えるためには正しい言葉を知らなければなりません。わからない言葉は辞書を引き、使い方を覚えましょう。
- ・さまざまなジャンルの本を読み、内容理解とともに書かれた時代や社会の影響を考えましょう。
- ・自分と違う意見については、どうしてそう考えるのか相手の立場になって考えてみましょう。
- ・柔軟な思考力を身に付けるよう努力してください。

○スクーリング学習計画 ※スクーリング内容は予定であり、変更することがあります。
日曜・水曜スクーリング(2回以上出席が必須、原則日曜は複数教室で、水曜は2F階段教室で行つ。)

回	月/日曜時限	学習項目	学習の内容	対応レポート
1	4/26(日)①	学習方法、広がる風景	教科書オリエンテーション。学習方法、注意等。「世界を作り替えるために」	レポート1
2	5/24(日)②	考える手がかり、人間と知性	「少女たちの『ひろしま』」学ぶことと人間の知恵	レポート2、3
3	6/10(水)②	水曜スクーリング 現実の中で	「学ぶことと人間の知恵」「安心について」	レポート3、4
4	7/5(日)⑥	ものの見方	「安心について」「弱肉強食は自然の摂理か」	レポート4、5
5	7/26(日)①	働くよさこび	「弱肉強食は自然の摂理か」「楽に働くこと、楽しく働くこと」等	レポート5、6
テスト 前期試験は7月～9月初め。第6回会後後に同封の用紙で各自申し込む。前期卒業予定者は、第6回～切前に提出しないと受けられない場合がある。試験にはレポートの内容が多く出題される。合格は30点以上、満たない場合は、追試を2回まで受験可能。				

レポート合格の期限
(太字の計4回、他は目安)
レポート1〔5月20日〕
レポート2〔6月初旬〕
レポート3〔6月17日〕
レポート4〔7月初旬〕
レポート5〔7月15日〕
レポート6〔8月26日〕

○レポートについて(これらについては、主に「主体的に取り組む態度」として評価します)

- ・第1回から順に、教科書や学習課題ノート、プリントをよく読んで仕上げましょう。解答欄は必ず全て埋めて提出しましょう。空欄があるもの、70点に満たないレポートは不合格です。その際は指示された所をすべてやり直して再提出し、合格を確認後、次のレポートに進めます。
- ・同時に複数回のレポート提出は禁止。レポートの合格を確認せず、次回を提出することも禁止。
- ・レポートの第1、3、5、6回は合格締切日があり、これを過ぎると単位不認定となります。
- ・他人のレポートを写す(写させる)、他人にやらせる(やってやる)ことは重大な不正行為となります。絶対にやめてください。
- ・各レポートの「作品・題材について考えたこと、疑問点と調べてみたこと」への応答(コメント)欄も評価の対象となります。

ト) 欄も評価の対象となります。

○評価について

(1) 科目としての評価の観点及び内容 (評価規準)

評価の観点及び内容 (評価規準)	
知識・技能	漢字の読み方、書き方が正確にできる。 文中における語句の意味を正確に捉えられている。
思考・判断・表現	接続表現や論理の構成方法を体系的に理解できている。 論理的な文章を読み、構成や展開のしかたなどを捉え、論点や内容を把握することができる。 適切に情報を読み取り、接続表現や構成を工夫しながら自分の考えを表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	自分でできちんと予定を立て、積極的に学習に取り組んでいる。レポートに真摯に取り組む、言語感覚を磨き、幅広い興味関心を持つことができる。

(2) 評価方法と評定

(a) 評価方法		(b) 評定	
評価方法・観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度
スクーリング			
レポート	○	◎	◎
テスト	◎	◎	○
		解答内容、点数	
		記述内容、感想欄	
		6回のレポートを合格し試験を受け、スクーリングに2回以上出席した場合、テストとレポートの結果等を基に5段階で評価します。評価「5」「2」が単位修得です。	

選択科目	2単位	後期	全学科、全年次対象	教科書等…新編論理国語、新編論理国語学習課題ノート（東京書籍）
面接指導…後期5時間（日曜4回、水曜1回）実施、うち2時間以上出席				試験…後期1回 レポート提出…後期6回

○「論理国語」の学習目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する能力を次のとおり育成することを目指す。
- （1）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 - （2）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - （3）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○学習内容の概要

「知識及び技能」言葉の働きを理解し、論証のために必要な語句を増やし、実際に使うことで語感を磨き語彙を豊かにする。また、効果的な文章にするために接続表現や論の構成などについて理解を深める。文章に含まれている情報の関係性やそれらを整理する方法、推論の仕方を理解し使う。読書を通して新しい知識や考えに触れ、自分の考えを深めていく。

「読者の読みきき」必要な情報を収集、整理し自分の立場や論点を明確にして適切な根拠をそろえ、効果的な構成を考えて明晰で自分の主張が的確に伝わる文章を書く。文章の種類を踏まえて、内容や構成、資料との関係を把握し、論点を明確にしながら、多面的・多角的な視点で評価をし、新たな観点から自分の考えを深める。

○国語科からのメッセージ（これらの学習の態度・心構えについては、「主体的に取り組む態度」として評価します）

- ・国語は考える科目ですが、考えるためには正しい言葉を知らなければなりません。わからない言葉は辞書を引き、使い方を覚えましょう。
- ・さまざまなジャンルの本を読み、内容理解とともに書かれた時代や社会の影響を考えましょう。
- ・自分と違う意見については、どうしてそう考えるのか相手の立場になって考えてみましょう。
- ・柔軟な思考力を身に付けるよう努力してください。

○スクーリング学習計画 ※スクーリング内容は予定であり、変更することがあります。
日曜・水曜スクーリング（2回以上出席が必須、原則日曜は複数教室で、水曜は2F階段教室で行つ。）

回	月/日曜時限	学習項目	学習の内容	対応レポート
1	10/18（日）①	教科OR、時代をひらく	学習方法、注言等「最初のペンギン」豊かな生物多様性	レポート1
2	10/25（日）②	新しい視点から、科学と人間	「カフェの開店準備」「ロボットが隣人になるとき」	レポート2、3
3	11/11（水）③	水曜スクーリング豊かな認識	「ロボットが隣人になるとき」「言葉は『ものの名前』ではない」	レポート3、4
4	11/29（日）⑤	豊かな認識、知のゆくえ	「言葉は『ものの名前』ではない」「もう一つの知性」	レポート4、5
5	12/20（日）④	明日をみつめて	「もう一つの知性」「ボンモノのおカネの作り方」	レポート5、6
テスト 後期試験は11月末・2月初め、第6回合格後に同封の用紙で各自申し込む。後期卒業予定者は、第6回べ切前に提出しないと受けられない場合がある。試験にはレポートの内容が多く出題される。合格は30点以上、満たない場合は、追試を2回まで受験可能				

レポート合格の期限 （太字の計4回、他は目安）
レポート1（10月29日）
レポート2（11月初旬）
レポート3（11月25日）
レポート4（12月初旬）
レポート5（12月23日）
レポート6（1月20日）

○レポートについて（これらについては、主に「主体的に取り組む態度」として評価します）

- ・第1回から順に、教科書や学習課題ノート、プリントをよく読んで仕上げましょう。解答欄は必ず全て埋めて提出しましょう。空欄があるもの、70点に満たないレポートは不合格です。その際は指示された所をすべてやり直して再提出し、合格を確認後、次のレポートに進めます。
- ・同時に複数回のレポート提出は禁止。レポートの合格を確認せず、次回を提出することも禁止。
- ・レポートの第1、3、5、6回は合格締切日があり、これを過ぎると単位不認定となります。
- ・他人のレポートを写す（写させる）、他人にやらせる（やってやる）ことは重大な不正行為となります。絶対にやめてください。
- ・各レポートの「作品・題材について考えたこと、疑問点と調べてみたこと」への応答（コメント）欄も評価の対象となります。

○評価について

(1) 科目としての評価の観点及び内容（評価規準）

評価の観点及び内容（評価規準）	
知識・技能	漢字の読み方、書き方が正確にできる。 文中における語句の意味を正確に捉えられている。
思考・判断・表現	接続表現や論理の構成方法を体系的に理解できている。 論理的な文章を読み、構成や展開のしかたなどを捉え、論点や内容を把握することができる。 適切に情報を読み取り、接続表現や構成を工夫しながら自分の考えを表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	自分できちんと予定を立て、積極的に学習に取り組んでいる。レポートに真摯に取り組む、言語感覚を磨き、幅広い興味関心を持つことができる。

(2) 評価方法と評定

(a) 評価方法		(b) 評定	
評価方法・観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度
スクーリング			
レポート	○	◎	◎
テスト	◎	◎	○
		解答内容、点数	
		記述内容、感想欄	
		6回のレポートを合格し試験を受け、スクーリングに2回以上出席した場合、テストとレポートの結果等を基に5段階で評価します。評価「5」「2」が単位修得です。	

選択科目	2単位	前期	全学科、全年次対象	教科書等…標準文学国語、標準文学国語学習課題集(第一学習社)
面接指導…前期5時間(日曜4回、水曜1回)実施、うち2時間以上出席				
			試験…前期1回	レポート提出…前期6回

○「文学国語」の学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

(3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○学習内容の概要

〔知識及び技能〕言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、語句の量を増し、また、実際の文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。

文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解し、修辞などの表現の技法についても理解し使う。

〔読者の読み方〕

表現したいことを明確にし、文章の構成や展開を工夫し、修辞の働きなどを考慮し、また、他者からの助言などを踏まえて自分らしい文章を書く。文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉える。その際、語り手の視点や作品が成立した背景、他の作品との関係、解釈の多様性を考察し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。

○国語科からのメッセージ(これらの学習の態度・心構えについては、「主体的に取り組む態度」として評価します)

- ・国語は考える科目ですが、考えるためには正しい言葉を知らなければなりません。わからない言葉は辞書を引き、使い方を覚えましょう。
- ・さまざまなジャンルの本を読み、内容理解とともに書かれた時代や社会の影響を考えましょう。
- ・自分と違う意見については、どうしてそう考えるのか相手の立場になって考えてみましょう。
- ・柔軟な思考力を身に付けるよう努力してください。

○スクーリング学習計画 ※スクーリング内容は予定であり、変更することがあります。

日曜・水曜スクーリング(2回以上出席が必須、原則日曜は複数教室で、水曜は2F階段教室で行つ。)

回	月/日曜時限	学習項目	学習の内容	対応レポート
1	5/10(日)⑤	学習方法、現代の小説	教科書オリエンテーション。学習方法、注意等。『調律師のろみ子さん』	レポート1
2	6/7(日)④	現代の小説	「相棒」「ナイン」	レポート2、3
3	6/24(水)②	水曜スクーリング	近代の小説	レポート4、5
4	7/19(日)⑥	戦争と文学	「鼻①」「鼻②」	レポート6
5	8/23(日)③	総復習	「バグダッドの靴磨き」	レポート1～6
テスト 前期試験は7月～9月初め。第6回合格後に同封の用紙で各自申し込む。前期卒業予定者は、第6回～切前に提出しないと受けられない場合がある。試験にはレポートの内容が多く出題される。合格は30点以上、満たない場合は、追試を2回まで受験可能。				

レポート合格の期限
(太字の計4回、他は目安)
レポート1〔5月20日〕
レポート2〔6月初旬〕
レポート3〔6月17日〕
レポート4〔7月初旬〕
レポート5〔7月15日〕
レポート6〔8月26日〕

○レポートについて(これらについては、主に「主体的に取り組む態度」として評価します)

・第1回から順に、教科書や学習課題集、プリントをよく読んで仕上げてみましょう。解答欄は必ず全て埋めて提出しましょう。空欄があるもの、70点に満たないレポートは不合格です。その際は指示された所をすべてやり直して再提出し、合格を確認後、次のレポートに進めます。

・同時に複数回のレポート提出は禁止。レポートの合格を確認せず、次回を提出することも禁止。

・レポートの第1、3、5、6回は合格締切日があり、これを過ぎると単位不認定となります。

・他人のレポートを写す(写させる)、他人にやらせる(やってやる)ことは重大な不正行為となります。絶対にやめてください。

・各レポートの「作品・題材について考えたこと、疑問点と調べてみたこと」への応答(コメント)欄も評価の対象となります。

○評価について

(1) 科目としての評価の観点及び内容 (評価規準)

評価の観点及び内容 (評価規準)	
知識・技能	漢字の読み方、書き方が正確にできる。 文中における語句の意味を正確に捉えられている。 修辞等の表現技法を体系的に理解できている。
思考・判断・表現	文学的な文章を読み、内容や構成、展開、描写のしかたなどを捉えられている。 文体の特徴や表現技法を考慮して、適切な文章が書けている。
主体的に学習に取り組む態度	自分できちんと予定を立て、積極的に学習に取り組んでいる。 レポートに真摯に取り組む、言語感覚を磨き、幅広い興味関心を持つことができる。

(2) 評価方法と評定

(a) 評価方法				
評価方法・観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度	具体的な評価のポイント
スクーリング		○	○	準備・取組の様子
レポート	○	◎	◎	記述内容、感想欄
テスト	◎	◎	○	解答内容、点数
(b) 評定				
6回のレポートを合格し試験を受け、スクーリングに2回以上出席した場合、テストとレポートの結果等を基に5段階で評価します。評価「5」～「2」が単位修得です。				

選択科目	2単位	後期	全学科、全年次対象	教科書等…標準文学国語、標準文学国語学習課題集（第一学習社）
面接指導…後期5時間（日曜4回、水曜1回）実施、うち2時間以上出席				
			試験…後期1回	レポート提出…後期6回

○「文学国語」の学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（2）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（3）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○学習内容の概要

〔知識及び技能〕言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、語句の量を増し、また、実際の文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。

文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解し、修辞などの表現の技法についても理解し使う。

〔読力・聴力・書力〕表現したいことを明確にし、文章の構成や展開を工夫し、修辞の働きなどを考慮し、また、他者からの助言などを踏まえて自分らしい文章を書く。文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉える。その際、語り手の視点や作品が成立した背景、他の作品との関係、解釈の多様性を考察し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。

○国語科からのメッセージ（これらの学習の態度・心構えについては、「主体的に取り組む態度」として評価します）

- ・国語は考える科目ですが、考えるためには正しい言葉を知らなければなりません。わからない言葉は辞書を引き、使い方を覚えましょう。
- ・さまざまなジャンルの本を読み、内容理解とともに書かれた時代や社会の影響を考えましょう。
- ・自分と違う意見については、どうしてそう考えるのか相手の立場になって考えてみましょう。
- ・柔軟な思考力を身に付けるよう努力してください。

○スクーリング学習計画 ※スクーリング内容は予定であり、変更することがあります。

日曜・水曜スクーリング（2回以上出席が必須、原則日曜は複数教室で、水曜は2F階段教室で行つ）。

回	月/日曜	時限	学習項目	学習の内容	対応レポート
1	10/11	④	学習方法、現代の小説	教科オリエンテーション。学習方法、注意等。「旅する本」	レポート1
2	11/8	①	近代の小説	「山月記①」「山月記②」	レポート2、3
3	12/13	③	近代の小説、近代の詩	「清兵衛と瓢箪」「詩」	レポート4、5
4	12/20	⑤	現代の小説	「ひつひの眼」	レポート6
5	1/13	②	水曜スクーリング	総復習	レポート1～6
テスト 後期試験は11月末～2月初め。第6回合格後に同封の用紙で各自申し込む。後期卒業予定者は、第6回〆切前に提出しないと受けられない場合がある。試験にはレポートの内容が多く出題される。合格は30点以上、満たない場合は、追試を2回まで受験可能。					

レポート合格の期限
（太字の計4回、他は目安）
レポート1〔10月29日〕
レポート2〔11月初旬〕
レポート3〔11月25日〕
レポート4〔12月初旬〕
レポート5〔12月23日〕
レポート6〔1月20日〕

○レポートについて（これらについては、主に「主体的に取り組む態度」として評価します）

・第1回から順に、教科書や学習課題集、プリントをよく読んで仕上げましょう。解答欄は必ず全て埋めて提出しましょう。空欄があるもの、70点に満たないレポートは不合格です。その際は指示された所をすべてやり直して再提出し、合格を確認後、次のレポートに進めます。

・同時に複数回のレポート提出は禁止。レポートの合格を確認せず、次回を提出することもあり禁止。

・レポートの第1、3、5、6回は合格締切日があり、これを過ぎると単位不認定となります。

・他人のレポートを写す（写させる）、他人にやらせる（やってやる）ことは重大な不正行為となります。絶対にやめてください。

・各レポートの「作品・題材について考えたこと、疑問点と調べてみたこと」への応答（コメント）欄も評価の対象となります。

○評価について

(1) 科目としての評価の観点及び内容（評価規準）

評価の観点及び内容（評価規準）	
知識・技能	漢字の読み方、書き方が正確にできる。 文中における語句の意味を正確に捉えられている。
思考・判断・表現	修辭等の表現技法を体系的に理解できている。 文学的な文章を読み、内容や構成、展開、描写のしかたなどを捉えられている。 文体の特徴や表現技法を考慮して、適切な文章が書けている。
主体的に学習に取り組む態度	自分できちんと予定を立て、積極的に学習に取り組んでいる。 レポートに真摯に取り組む、言語感覚を磨き、幅広い興味関心を持つことができる。

(2) 評価方法と評定

(a) 評価方法			
評価方法・観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度
スクーリング			
レポート	○	◎	○
テスト	◎	◎	○
解答内容、点数			
(b) 評定			
6回のレポートを合格し試験を受け、スクーリングに2回以上出席した場合、テストとレポートの結果等を基に5段階で評価します。評価「5」「2」が単位修得です。			

選択科目	2単位	前期	全学科、全年次対象	教科書等…標準古典探究、標準古典探究 学習課題集(第一学習社)
面接指導…前期5時間(日曜4回、水曜1回)実施、うち2時間以上出席			試験…前期1回	レポート提出…前期6回

○「古典探究」の学習目標

・言葉による見方・考え方を働かせる言語活動をとおして、国語で理解し表現する資質や力を育成する。その資質や力とは、「社会生活で必要な知識や技能」「言語文化への理解」「論理的に考える力や共感・想像する力」「先人の見方、感じ方、考え方を踏まえ、伝え合う力や思いや考えを深める力」「古典に親しみ、言語文化の担い手の自覚を持ち、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度」などである。

○学習内容の概要

〈知識及び技能〉

「言葉の使い方と特徴」や、言語文化に関する「特質」「文化的背景」「きまり」「言葉の変化」について学び、そのための「読書の意義と効用」について理解を深める。

〈思考力、判断力、表現力等〉

A読むこと…「内容、構成、展開」「表現の特色」「作品の背景や他の作品との関係」について学び、自分のものの見方や考え方を深める。

またそれらを、古典で学んだことをもとに論述、創作、朗読、発表する言語活動を通して広げる。

○国語科からのメッセージ(これらの学習の態度・心構えについては、「主体的に取り組む態度」として評価します)

- ・国語の学習はまず読むことが基本です。教科書の本文や注を何回も読み、疑問点をノートに書き出しましょう。
- ・学習課題集やプリントは教科書の内容について詳しく解説してあります。上手に活用して理解を深めてください。
- ・スクーリングでは、疑問点を積極的に解決してください。レポートの質問欄も大いに利用しましょう。

○スクーリング学習計画 ※スクーリング内容は予定であり、変更することがあります。

日曜・水曜スクーリング(2回以上出席が必須、原則日曜は3階教室で、水曜は2F階段教室で行つ。)

回	月/日曜時限	学習項目	学習の内容	対応レポート
1	4/26(日)④	通信制の学習、物語	教科オリエンテーション。学習方法、注意事項等。	
2	5/24(日)④	説話、故事・寓話	古今著聞集「竹取物語」助長「團扇点晴」「推敲」「朝「暮四」	レポート1、2
3	6/7(日)③	故事・寓話、随筆	「推敲」「朝「暮四」」「徒然草」「方丈記」	レポート2、3
4	7/22(水)③	随筆「三國志の世界」	「徒然草」「方丈記」「水魚之交」「死諸葛走生仲達」	レポート3、4
5	7/26(日)④	物語、和歌・俳諧、漢詩	水魚之交」「死諸葛走生仲達」「伊勢物語」「枕草子」	レポート4、5
6	8/9(日)④	物語、和歌・俳諧、漢詩	伊勢物語」「枕草子」「万葉集、古今和歌集、新古今和歌集、漢詩	レポート5、6
テスト 前期試験は7月～9月初め。第6回合格後に同封の用紙で各自申し込む。前期卒業予定者は、第6回を〆切前に提出しないと受けられない場合がある。試験にはレポートの内容が多く出題される。合格は30点以上、満たない場合は、追試を2回まで受験可能。				

レポート合格の期限
(太字の計4回、他は目安)
レポート1〔5月20日〕
レポート2〔6月初旬〕
レポート3〔6月17日〕
レポート4〔7月初旬〕
レポート5〔7月15日〕
レポート6〔8月26日〕

○レポートについて(これらについては、主に「主体的に取り組む態度」として評価します)

・第1回から順に、教科書や学習課題集、プリントをよく読んで仕上げましょう。解答欄は必ず全て埋めて提出しましょう。空欄があるもの、70点に満たないレポートは不合格です。その際は指示された所をすべてやり直して再提出し、合格を確認後、次のレポートに進めます。

・同時に複数回のレポート提出は禁止。レポートの合格を確認せず、次回を提出することも禁止。

・レポートの第1、3、5、6回は合格締切日があり、これを過ぎると単位不認定となります。

・他人のレポートを写す(写させる)、他人にやらせる(やってやる)ことは重大な不正行為となります。絶対にやめてください。

・各レポートの「今回の作品・題材について考えたこと、疑問点とそれを自分で調べてみたこと」への応答(コメント)欄も評価の対象となります。

○評価について

(1)科目としての評価の観点及び内容 (評価規準)

評価の観点及び内容 (評価規準)	
知識・技能	「言葉の使い方と特徴」や、言語文化に関する「特質」「文化的背景」「きまり」「言葉の変化」について理解している。
思考・判断・表現	「書くこと」で言いたいことを明確かつ効果的に伝えられる。「読むこと」で的確に物事を捉え、解釈し、自分の考え方を深められる。
主体的に学習に取り組む態度	自分できちんと予定を立て、積極的に学習に取り組んでいる。レポートに真摯に取り組む、言語感覚を磨き、幅広い興味関心を持つことができる。

(2)評価方法と評定

(a) 評価方法	
評価方法・観点	知識・技能
スクーリング	思考・判断・表現
レポート	主体的な態度
テスト	具体的な評価のポイント
評価	準備・取組の様子
	記述内容、感想欄
	解答内容、点数
(b) 評定	
6回のレポートを合格し試験を受け、スクーリングに2回以上出席した場合、テストとレポートの結果等を基に5段階で評価します。評価「5」「2」が単位修得です。	

選択科目	2単位	後期	全学科、全年次対象	教科書等…標準古典探究、標準古典探究 学習課題集（第一学習社）
面接指導…後期5時間（日曜4回、水曜1回）実施、うち2時間以上出席 試験…後期1回 レポート提出…後期6回				

○「古典探究」の学習目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせる言語活動をとおして、国語で理解し表現する資質や力を育成する。その資質や力とは、「社会生活に必要な知識や技能」「言語文化への理解」「論理的に考える力や共感・想像する力」「先人の見方、感じ方、考え方を踏まえ、伝え合う力や思いや考えを深める力」「古典に親しみ、言語文化の担い手の自覚を持ち、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度」などである。

○学習内容の概要

〈知識及び技能〉

「言葉の使い方と特徴」や、言語文化に関する「特質」「文化的背景」「きまり」「言葉の変化」について学び、そのための「読書の意義と効用」について理解を深める。

〈思考力、判断力、表現力等〉

A読むこと…「内容、構成、展開」「表現の特色」「作品の背景や他の作品との関係」について学び、自分のものの見方や考え方を深める。

またそれらを、古典で学んだことをもとに論述、創作、朗読、発表する言語活動を通して広げる。

○国語科からのメッセージ（これらの学習の態度・心構えについては、「主体的に取り組む態度」として評価します）

- ・国語の学習はまず読むことが基本です。教科書の本文や注を何回も読み、疑問点をノートに書き出しましょう。
- ・学習課題集やプリントは教科書の内容について詳しく解説してあります。上手に活用して理解を深めてください。
- ・スクーリングでは、疑問点を積極的に解決してください。レポートの質問欄も大いに利用しましょう。

○スクーリング学習計画

※スクーリング内容は予定であり、変更することがあります。

日曜・水曜スクーリング（2回以上出席が必須、原則日曜は3階教室で、水曜S12／2③は4F401教室で行つ。）

回	月／日曜時限	学習項目	学習の内容	対応レポート
1	10／11（日）②	古典の学習の進め方 諸家の思想、説話	教科オリエンテーション。学習方法、注意事項等 「仁人心也」「柔弱」「鴟得腐鼠」「蝴蝶之夢」「浦島太郎」	レポート1、2
2	10／25（日）④	物語、項羽と劉邦	「弓争い」「三舟の才」史記「四面楚歌」	レポート2、3
3	11／29（日）③	項羽と劉邦、日記	史記「四面楚歌」「垓垓の水」「源氏の五十余巻」	レポート3、4
4	12／2（水）③	水曜スクーリング、日記、物語	「垓垓の水」「源氏の五十余巻」「光君の誕生」「若菜」	レポート4、5
5	12／20（日）②	名家の文章、物語	「光君の誕生」「若菜」「猫相乳」「臨江の塵」「能登殿の最期」	レポート5、6
テスト 前期試験は11月終わりと12月初め。第6回合格後に同封の用紙で各自申し込む。前期卒業予定者は、第6回をベ切前に提出しないと受けられない場合がある。試験にはレポートの内容が多く出題される。合格は30点以上、満たない場合は、追試を2回まで受験可能。				

○レポートについて（これらについては、主に「主体的に取り組む態度」として評価します）

レポート合格の期限

（太字の計4回、他は目安）

レポート1〔10月29日〕
レポート2〔11月初旬〕
レポート3〔11月25日〕
レポート4〔12月初旬〕
レポート5〔12月23日〕
レポート6〔1月20日〕

- ・第1回から順に、教科書や学習課題集、プリントをよく読んで仕上げましょう。解答欄は必ず全て埋めて提出しましょう。空欄があるもの、70点に満たないレポートは不合格です。その際は指示された所をすべてやり直して再提出し、合格を確認後、次のレポートに進めます。
- ・同時に複数回のレポート提出は禁止。レポートの合格を確認せず、次回を提出することも禁止。
- ・レポートの第1、3、5、6回は合格締切日があり、これを過ぎると単位不認定となります。
- ・他人のレポートを写す（写させる）、他人にやらせる（やってやる）ことは重大な不正行為となります。絶対にやめてください。

各レポートの「今回の作品・題材について考えたこと、疑問点とそれを自分で調べてみたこと」への応答（コメント）欄も評価の対象となります。

○評価について

(1) 科目としての評価の観点及び内容（評価規準）

評価の観点及び内容（評価規準）	
知識・技能	「言葉の使い方と特徴」や、言語文化に関する「特質」「文化的背景」「きまり」「言葉の変化」について理解している。
思考・判断・表現	「書くこと」で言いたいことを明確かつ効果的に伝えられる。「読むこと」で的確に物事を捉え、解釈し、自分の考え方を深められる。
主体的に学習に取り組む態度	自分できちんと予定を立て、積極的に学習に取り組んでいる。レポートに真摯に取り組む、言語感覚を磨き、幅広い興味関心を持つことができる。

(2) 評価方法と評定

(a) 評価方法	
評価方法・観点	知識・技能
思考・判断・表現	主体的な態度
具体的な評価のポイント	具体的評価のポイント
スクーリング	○
レポート	○
テスト	◎
解答内容、点数	◎
記述内容、感想欄	◎
解答内容、点数	◎
(b) 評定	
6回のレポートを合格し試験を受け、スクーリングに2回以上出席した場合、テストとレポートの結果等を基に5段階で評価します。評価「5」「4」「3」「2」が単位修得です。	